

2020年3月24日付 韓国環境部プレスリリース

京畿道、江原道の野生イノシシからASFウイルス検出 (野生イノシシ422-430例目)

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do?pagerOffset=0&maxPageItems=10&maxIndexPages=10&searchKey=&searchValue=&menuId=286&orgCd=&boardId=1359105&boardMasterId=1&boardCategoryId=&decorator=>

□環境部所属国立環境科学院(院長チャン・ユンソク)は3月20日～23日江原道(カンウォンド) 華川郡(ファチョンゲン) 上西面(サンソミョン)、京畿道(キョンギド) 漣川郡(ヨンチョンゲン) 漣川邑(ヨンチョンウプ) および旺澄面(ワンジンミョン)、坡州市(パジュシ) 津東面(チンドンミョン) で発見されたイノシシ死体8個体と3月23日江原道(カンウォンド)、華川郡(ファチョンゲン)、上西面(サンソミョン) で捕獲罠に捕えられたイノシシ1個体でASFウイルスが検出されたと3月24日明らかにした。

□国立環境科学院は3月24日イノシシ9個体からASFウイルスを検出したことを関係機関に通知した。これで華川郡(ファチョンゲン) 168件、漣川郡(ヨンチョンゲン) 160件、坡州市(パジュシ) 79件、鉄原郡(チョルウォンゲン) 23件、合計430件のイノシシASF陽性となった。

○野生イノシシASF標準行動指針により試料採取後現場消毒と共に死体は処理された。

□国立環境科学院は「今回のイノシシ発見地点はASF感染イノシシがさらに出てくる可能性が高い地域であり、捕獲柵檻・罠の設置を拡大して、感染イノシシを速かに除去する」と明らかにした。

以上